

kyouritu hospital

医療法人社団 刀圭会 **協立病院**

080-0046 帯広市西16条北1丁目27番地

TEL(代) **0155-35-3355**

事前予約は出来ません。
電話にて担当医師の診療予定日時をご案内しています。
上記の電話番号にてお問い合わせください。

からだにやさしい 先天性股関節脱臼検査

生後3~4ヶ月に
受けるのが
適切な時期と
されています。



超音波診断による
乳児の先天性股関節脱臼検査が
今、注目を浴びています。

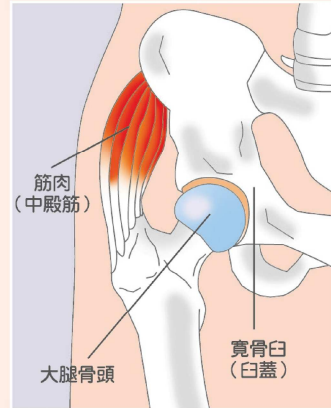
協立病院

先天性股関節脱臼ってなに？

ももの骨(大腿骨)と腰の骨(骨盤)をつないでいる関節が「**股関節**」です。大腿骨の上端(骨頭)はピンポン玉のような球形で、骨盤のお椀のようなくぼみ(寛骨臼)の中にはまりこんでいます。

骨頭が寛骨臼からはずれかけたり(亜脱臼)、はずれてしまったり(脱臼)した状態が**先天性股関節(亜)脱臼**という病気です。

骨盤位出生児や冬季の出生児、ご家族の中に先天性股関節脱臼の方がいる場合に発生しやすいと言われています。



股関節の構造

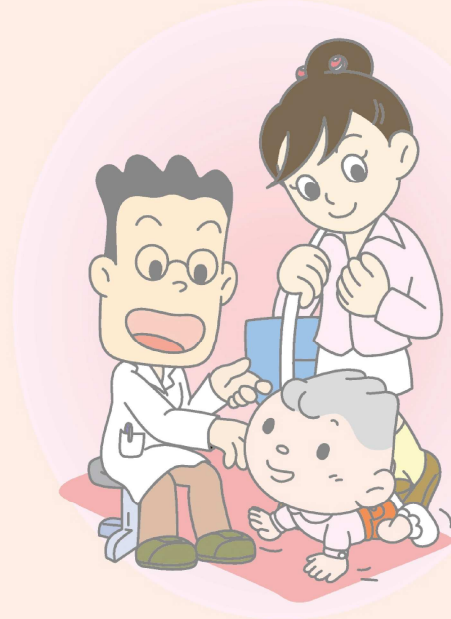
超音波検査による診断

超音波検査では、通常のレントゲン写真には写らない乳児の軟骨や軟部組織(筋肉・じん帯等)も見ることができ、股関節脱臼の診断に適しています。



また、股関節の開きなどをチェックする診察と組み合わせることにより、侵襲なく正確に診断ができるようになりました。

検査は簡単です！



検査(診察)時間は10分程度です。

専用の体位固定マクラの中に寝ていただき、検査用ゼリーをつけて行います。

★超音波(エコー)は妊娠中の胎児を見る時にも使用されており放射線の被曝はありません。

※但し、状況によりレントゲン検査が必要になる場合もあります。

**先天性股関節(亜)脱臼の診断には
整形外科専門医の診察が必要です。**

検査を受ける時期は生後3~4ヶ月頃が適切とされています。

費用 乳幼児医療受給者証をお持ちの方は、窓口負担金が発生致しません。

※一部自治体により異なりますので、お問い合わせ下さい。

**当院では
股関節の専門医が
診察を
行っています。**